

今年度の取組も、まとめの3学期を残すのみとなりました。次年度のアクションプランを実効性のあるものにするためには、「学校の課題に基づいた明確な目標設定をすること」と「課題や目標を次年度の教職員と共有すること」が大切です。

今号では、次年度の教育課程編成作業と関連付けて、アクションプランを作成し、実行している取組を紹介します。



Advisers' viewpoint



©岡山県「ももっち」

学校では、2学期後半から次年度に向けた教育課程編成を行っていく時期に入ります。その際、**各教育活動で育てたい力を明確化し、教職員全員で共有すること**が何より重要で、**教職員一人一人がそれぞれの分掌で計画表を作成すること**が具体的な取組を進めていくのに有効です。今号のキーワードは、「**明確化**」「**共有**」「**協働**」です。

次年度の教育課程編成までの流れ

★ 教職員全員で学校・児童生徒の課題を整理し、次年度の方針性を定め、教育課程を組み立てる。

2学期後半から

① 根拠となる資料を集める。

- ・ 学力・学習状況調査結果
- ・ 児童・教職員・保護者アンケート
- ・ 各行事・取組等の反省
- ・ 校務分掌計画・評価表での評価 等



② 課題と方向性を共有する。

- ・ 教職員全員で、資料や今年度の反省を基に、学校の課題を明確にする。
- ・ 教職員全員で、育てたい児童生徒の姿を明確にし、次年度の方針性を共有する。

③ 校長のビジョンを示す。

- ・ 校長は、学校教育目標や重点目標、AP等の案を示す。
- ・ 教頭は、**カリキュラム・マネジメント表**【例①】の案を示す。



④ 重点的取組を決定する。

- ・ 重点的に取り組む事例を設定する。



次年度の教育課程
編成表、分掌計画表、
アクションプラン
AP案 等の完成！

⑥ 校務分掌計画・評価表の作成

- ・ 各分掌で「いつ、どの力をどのように育て、いつ、どのように評価するか。」を明確にした計画表を作成する。



⑤ 教育課程を分担して作成する。

- ・ 「誰が」「何を」「いつまでに」立案するかを明確にした**編成計画表**【例②】を教務主任が作成する。
- ・ 計画表に基づいて、全教員が協働して作成する。

2月
中に

【例①】

育てたい力を共有するための工夫
～カリキュラム・マネジメント表～

【例②】

教職員全員が協働するための工夫
～編成計画表～

訪問で伺った管理職のお話

アクションプランの作成には時間がかかなり必要のため、面倒だと思ふところがありました。しかし、全教職員で教育課程編成を進める中で自分の考えが整理され、教職員も自分事として捉えてくれたのではないかと思います。学校訪問当日の協議では、学校の課題解決につながる具体的な話ができ、全教職員で取り組んでいることを整理し言語化する意義を感じました。

教育課程編成時期は、学校にとって特に重要な時期です。育てたい子どもの姿や課題の共有、教育活動の計画、修正等が適正にできるかどうか、次年度の教育活動やアクションプランの重点的取組の成否を左右すると思います。全職員で準備を進めることで協働性も高まり、学校のまとまりも出てきます。

表1 カリキュラムマネジメント表(例)

学校教育目標		教育活動		評価	
ハツラツ元氣、学びの意欲、社会に貢献できる児童を育てる	～自らの考えをつくり、活動しながら活動し、社会に貢献できる児童を育てる～	学習活動	生活活動	学習活動	生活活動
学力向上	生活習慣	学習活動	生活活動	学習活動	生活活動

学年	教科	単元	学習目標	評価
1年	国語	読書	読書を楽しむ	読書感想文
1年	算数	計算	計算の速さ	計算テスト
1年	理科	観察	観察の仕方	観察日記
1年	社会	生活	生活のルール	生活態度
1年	体育	運動	運動の楽しさ	運動会
1年	音楽	歌	歌の楽しさ	発表会
1年	美術	絵画	絵画の楽しさ	作品展
1年	外国語	英語	英語の楽しさ	英語発表
1年	総合	生活	生活の楽しさ	生活態度

各教育活動に「育てたい力」が位置付けられています。この表が、学校の教育の設計図に当たり、取組の方向性を揃えることができます。

だれが(どの分掌が)、何を、いつまでに作成するかを明確にして、教職員一人一人が自分事として、学校全体の取組を行うことができます。

学校教育目標

【例①】

育てたい力を共有するための工夫
～カリキュラム・マネジメント表～

ハツラツ元気 キラキラ笑顔 ドキドキ感動
～自らの考えをつくり、協働しながら活動し、社会に貢献できる素地を育てる～

カリキュラムマネジメント委員会 【管理職・指導教諭・教務主任・生徒指導主事・ 研究主任・保健主事・特支コ】 教育課程編成・管理・評価・改善		教育コンセプト	経営の柱	主担当	重点項目	具体的取組				
						2部会		教科教育	各種教育	特別活
						学校行事				
内容	主担当	統一のかつ基本的な 考え方の視点 「心 育てる」 「協働」 スマイルプロジェクト	「学ぶ力」 心を育てる授業づくり 主体・協働・挑戦 具体的なめあてと見通しを 持って取り組ませる 学ぶ楽しさや学習の成果を 自覚させる	学習指導部 【指導教諭】 取組の事前・ 過程・事後に 記入させる 重点項目ごと	学ぶ構えづくり	学習(週)目標				
経営構想・ アクションプラン	校長				学力の基礎を 育てる	算数・漢字 チャレンジ タブレットドリル 活用		低学年 読み聞かせ 【図書部】		
カリキュラム マネジメント表	教頭				心育てる授業つ くり	家庭学習・ 自主学習の充実	補充学習			
取組と評価のリンク整理	指導教諭					校内研究	テーマ研究公開 授業	実践交流	各教科の指導の 重点化	ICTの活用 (情報教育)
学校評価書	教務主任					単元の指導計画・ 評価計画の作成	評価資料の統一	授業改善		
会の設定・運営	教務主任					学習支援	スタートカリキュ ラム(1年担任)	支援学級と通常 学級との連携	こ小交流・小中 連携	
編成・管理	教務主任					生活(月)目標 「3つの『あ』」	〇〇っ子のやく そく	長期休業中のくらし		

月	日	曜日	担当	経営構想	校務分掌表	学校評価書	チャレンジP スマイルP 構想整理	取組と評価 のリンク 分掌計画枠	評価(アンケート 計画)後の改 善会議計画につ いて	行事見直	むさしチャ レンジ(水 曜日計画)	月目標の取組 と分掌への位 置づけ	スタート カリキュ ラムと交 流計画	授業改善 外部講
			校長	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇
12	2	水	教頭	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	○	↑	↑	↑
	3,4	木・金	〇〇	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	4~11	金・金	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	7~15	月・火	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	16	水	〇〇	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	23	水	〇〇	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	24	木	〇〇	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
	~		〇〇	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑

【例②】

教職員全員が協働するための工夫
～編成計画表～